

申請の内容により、記載する事項・内容が異なります。

第1号様式（第8号）

実際の申請にあたっては窓口にて確認をお願いします。

指定事業所設置許可申請書

記載例1E

平成〇〇年〇〇月〇〇日

(申請先)
横浜市長

申請者 住 所 横浜市中区日本大通1
氏 名 甲乙産業株式会社
代表取締役 甲乙 丙丁
(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例第3条第1項の規定により指定事業所について設置の許可を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

指定事業所の名称等	名 称	甲乙産業株式会社 横浜工場				
	所 在 地	横浜市中区〇〇町〇〇番				
指定事業所で行う指定作業	条 例 別 表 の 作 業	指定作業番号	指定施設番号	指定施設の名称	設置台数	
	51	資源の再生又は廃棄物の処理の作業	(1)	(6)	動力プレス機	1
	51	資源の再生又は廃棄物の処理の作業	(2)	(8)	破碎施設	1
	51	資源の再生又は廃棄物の処理の作業	(2)	(13)	溶融施設	1
事業開始予定年月日 (事業所設置年月日) (既に設置されている事業所の場合に限る。)	平成〇〇年〇〇月〇〇日 (年 月 日)					

(裏)

他の公害関係 法規等の手続 状況	<input checked="" type="checkbox"/> 大気汚染防止法	平成〇〇年〇〇月〇〇日提出
	<input type="checkbox"/> 水質汚濁防止法	年 月 日 提出
	<input checked="" type="checkbox"/> 騒音規制法	平成〇〇年〇〇月〇〇日提出
	<input checked="" type="checkbox"/> 振動規制	平成〇〇年〇〇月〇〇日提出
	<input type="checkbox"/> ダイオキシン類対策特別措置法	年 月 日 提出
	<input checked="" type="checkbox"/> 下水道法	平成〇〇年〇〇月〇〇日提出
	<input type="checkbox"/> 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	年 月 日 提出
	<input type="checkbox"/> その他 ()	年 月 日 提出
連絡先	総務部 総務課 総務係 担当者氏名 甲乙 丁甲 電話番号 045-000-0000 (内線) 000 住所 <input checked="" type="checkbox"/> 申請者住所と同じ <input type="checkbox"/> 指定事業所所在地と同じ <input type="checkbox"/> その他	
添付書類	・ 指定事業所概要書 (第2号様式) ・ 公害防止方法概要書 (第3号様式) <input type="checkbox"/> その他 ()	

- (注意) 1 条例別表の作業の欄には、同表の1から69までの作業番号及び作業名を記入してください。
- 2 他の公害関係法規等の手続状況の欄には、手続を行った法規について□内にレ印を記入し、その手続を行った年月日を記入してください。
- 3 連絡先の欄の住所でその他の□内にレ印を記入した場合は、住所を記入してください。
- 4 添付書類の欄でその他の書類を添付した場合には□内にレ印を記入し、その添付した書類の名称を () 内に記入してください。

第2号様式（第8条第2号）

(1)

指定事業所概要書

業種	廃棄物処理業（日本標準産業分類小分類； ）			
指定事業所における事業内容	別紙のとおり			
指定作業の工程	別紙（△）のとおり			
地域	<input type="checkbox"/> 第一種低層住居専用地域 <input type="checkbox"/> 第二種低層住居専用地域 <input type="checkbox"/> 第一種中高層住居専用地域 <input type="checkbox"/> 第二種中高層住居専用地域 <input type="checkbox"/> 第一種住居地域 <input type="checkbox"/> 第二種住居地域 <input type="checkbox"/> 準住居地域 <input type="checkbox"/> 近隣商業地域 <input type="checkbox"/> 商業地域 <input type="checkbox"/> 準工業地域 <input checked="" type="checkbox"/> 工業地域 <input type="checkbox"/> 工業専用地域 <input type="checkbox"/> その他の地域			
規模	資本金	事業所員の数	敷地面積	建物の床面積
	50,000千円	50人	10,000㎡	4,000㎡
敷地・建物の状況	敷地の境界線	別紙（○）のとおり		
	周辺の状況	別紙（△）のとおり		
	敷地内における建物等の配置状況	別紙（▽）のとおり		
	建物等の構造	別紙（×）のとおり		
	建物工種の種類及び工事予定期間	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増改築 平成〇〇年〇〇月〇〇日～平成△△年△△月△△日		
生コンクリートプラントを設置する場合には、自動車の出入口の位置	/			
不飽和ポリエステル樹脂の塗布の作業を行う場合には、その作業の方法	/			

(注意) 1 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

2 敷地・建物の状況の欄のうち、建物等の構造については、建築図面（平面図、立面図及び構造詳細図）を添付してください。

(2)

指 定	指定作業及び指定施設番号		51-(1)-(6)	51-(2)-(8)	51-(2)-(13)	
	名 称		動力プレス機	破碎施設	溶融施設	
	事業所における施設番号		P-1	H-2	Y-1	
	種 類 及 び 型 式		〇〇社製××型	△△社製〇〇型	〇〇社製△△型	
	台 数		1	1	1	
	規 模 又 は 能 力		980kN	75kW	20kW	
	用 途		〇〇のプレス	〇〇の破碎	〇〇の溶融	
	構 造 ・ 配 置 状 況		別紙〇・別図△	別紙〇・別図△	別紙〇・別図△	
施 電	燃 料 又 は 電 力	種 類			電力	
		燃 料 中 の 成 分 割 合 (%)	硫黄分			
			窒素分			
		総 発 熱 量				
		通 常 の 使 用 量				
設 原 材 料 (排煙の発生 に影響のある ものに限る。)	種 類					
	原 材 料 中 の 成 分 割 合 (%)					
	1 日 の 使 用 量					
使 用 状 況	1 日 の 使 用 時 間	8:00~18:00	8:00~18:00	8:00~18:00		
	季 節 変 動	なし	なし	なし		
原 材 料 等 の 品 目、用 途 及 び 使 用 量	排煙指定物質、 排水指定物質 及び炭化水素系 特定物質を含有 するもの	品 目	用 途	1月当たりの 使 用 量	含 有 物 質	含有率 (%)
	その他のもの (主要なもの に限る。)	品 目	用 途	1 月 当 た り の 使 用 量		

- (注意) 1 指定施設の名称の欄には、別表第1の施設の欄の名称を記入してください。
- 2 事業所における施設番号の欄には、事業所で管理のために付けている番号、記号等を記入してください。
- 3 指定施設の原材料中の成分割合の欄には、硫黄分、窒素分及び燃焼に伴い排煙指定物質を排出する可能性のある成分について、その割合を重量比・容量比の別を明らかにして記入してください。
- 4 指定施設の熱源として電力を使用する場合は、種類の欄に「電力」と記入してください。

(A4)

公害防止方法概要書

公害発生源の指定施設等	発生する公害の種類	発生源での公害の程度の予測値	排出口・敷地境界線等での公害の程度の予測値	公害防止対策（予測値の算出根拠を含む。）
動力プレスP-1	騒音	88dB（1m）	52dB	建屋・距離減衰
動力プレスP-1	振動	68dB（1m）	基準値内	強固な基礎・距離減衰
破碎施設H-2	騒音	90dB（1m）	64dB	建屋・距離減衰
破碎施設H-2	振動	70dB（1m）	基準値内	強固な基礎・距離減衰
破碎施設H-2	粉じん			防じんカバー・バグフィルター
溶融施設Y-1	悪臭		臭気指数〇以下	排出口、活性炭処理装置
保管・選別・溶融	悪臭		臭気指数×以下	敷地境界
指定施設等から発生する公害とこれに対する具体的な防止の方法	<input type="checkbox"/> 排煙の排出方法概要書 <input type="checkbox"/> 窒素酸化物の排出量明細書（ボイラーに限る。） <input type="checkbox"/> 窒素酸化物の排出量明細書（ガスタービン、ディーゼルエンジン及びガスタービンに限る。） <input type="checkbox"/> 炭化水素系物質の排出に係る施設の排出防止方法概要書（貯蔵施設、出荷施設及び給油施設に限る。） <input type="checkbox"/> ばいじんの排出量明細書（廃棄物焼却炉に限る。） <input type="checkbox"/> 廃棄物焼却炉及び廃棄物焼却炉に係る排出ガス処理施設の設備概要書 <input type="checkbox"/> 粒子状物質の排出量明細書 <input checked="" type="checkbox"/> 粉じんの処理方法概要書 <input checked="" type="checkbox"/> 悪臭の処理方法概要書 <input checked="" type="checkbox"/> 排水の汚染状態及び量等の明細書 <input type="checkbox"/> 排水の処理方法概要書 <input type="checkbox"/> 地下浸透禁止物質の製造等をする作業に係る施設の構造概要書 <input checked="" type="checkbox"/> 騒音の処理方法概要書 <input checked="" type="checkbox"/> 振動の処理方法概要書 <input checked="" type="checkbox"/> 上記に掲げる書類のほか、指定施設等から発生する公害とこれに対する具体的な防止の方法を明らかにする図面、表等			

（注意） 1 発生する公害の種類欄には、大気汚染及び水質汚濁に係るものについては、別表第2から別表第9まで、別表第11及び別表第12に掲げる物質名を記入してください。

2 指定施設等から発生する公害とこれに対する具体的な防止の方法は、規則第94条に基づき環境創造局長が定める様式の書類を用いることとし、添付したものについて□内にレ印を記入してください。

粉じんの処理方法概要書

<p>発生源の概要</p>	<p>コンクリがらの破砕を行う際、粉じんが飛散する。(H-2)</p>
<p>処理方法</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 粉じんが飛散しにくい構造の建物内で作業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> 集じん設備の設置 設備の種類、名称及び型式(バグフィルター) 湿式、乾式の区別(湿式・<input checked="" type="checkbox"/>乾式) 設備の処理能力(処理ガス量m^3N/h)(3000) 除去率(%) (90%以上) 排出口の実高さ、頂口径(4mH×ϕ0.5m) <input type="checkbox"/> 散水設備の設置 設備の種類、型式及び基数() 設備の能力(m^3/h)() 散水の仕方() <input checked="" type="checkbox"/> 防じんカバー等設置 防じんカバー等設置状況 () <input type="checkbox"/> その他の処理方法 () </p>

(注意) □のある欄には、該当する□内に印を記入してください。

悪臭の処理方法概要書

<p>発生源の概要</p>	<p>・金属缶の保管・選別・プレス等の作業</p>
<p>処理方法</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 悪臭の漏れにくい構造の建物内で作業を実施 <input type="checkbox"/> 脱臭設備の設置 設備の種類、名称及び型式（ ） 湿式、乾式の区分（湿式・乾式） 設備の処理能力（処理ガス量m^3N/h）（ ） 排出口の実高さ、頂口径（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 悪臭を発生する作業は屋内で実施 <input type="checkbox"/> 悪臭を発生する作業は屋外で実施 その理由 （ ） <input type="checkbox"/> 周辺に影響を及ぼさない位置で作業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> 悪臭を発生する原材料等の保管 保管方法 （臭気が発生する恐れがあるものの保管に当たっては、臭気が発生しないようカバーをかける。） </p>

- (注意) 1 □のある欄には、該当する□内に印を記入してください。
 2 周辺に影響を及ぼさない位置で作業を実施する場合には、作業実施位置図を添付してください。

(1)

排水の汚染状態及び量等の明細書

項 目			排 水 量 (m ³ /日)		pH	BOD (mg/ℓ)		COD (mg/ℓ)		SS (mg/ℓ)		
			通常	最大		通常	最大	通常	最大	通常	最大	
排水 処理 施設 名	①	油水分離槽	処理前	13	15	3.5	20	30	25	30	20	30
			処理後	13	15	7.0	10	20	15	20	10	20
	②		処理前									
			処理後									
	③		処理前									
			処理後									
排水 口 別	No.1(公共水域-工程系污水)			15	18	7.0	10	20	15	20	10	20
	No.2(下水-生活系污水)			5	7	7.5	15	20	15	20	40	60
	NO.3(雨水)			0	0							
合 計				0	0							

項 目			nヘキサン抽出物質 (mg/ℓ)				大腸菌群数 (個/cm ³)					
			鉱油類		動植物油脂				(mg/ℓ)		(mg/ℓ)	
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
排水 処理 施設 名	①	油水分離槽	処理前	3	5							
			処理後	<1	<1							
	②		処理前									
			処理後									
	③		処理前									
			処理後									
排水 口 別	No.1(公共水域-工程系污水)			<1	<1							
	No.2(下水-生活系污水)			<5	<5							
	NO.3(雨水)											

(注意) 1 「排水口別」の左欄には事業所内で管理のため付けている排水口の名称・記号等を記入し、右欄には流入する排水処理施設の番号(①、②、③)を記入してください。

2 「合計」の欄には、排水口別の水量の合計を記入してください。

3 項目の欄に記載のない項目については、次の項目のうち排出のおそれのある項目について記載してください。

カドミウム、シアン、有機^{リン}、鉛、六価^ひクロム、砒素、水銀、アルキル水銀、ポリ塩化ビフェニル、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ほう素、ふっ素、アンモニア等、ダイオキシン類、フェノール類、銅、亜鉛、溶解性鉄、溶解性マンガン、ニッケル、クロム及び1,4-ジオキサン

(2)

項目			(mg/l)		(mg/l)		(mg/l)		(mg/l)		(mg/l)	
			通常	最大								
排水処理施設名	①	処理前										
		処理後										
	②	処理前										
		処理後										
	③	処理前										
		処理後										
排水口別												

項目			(mg/l)		(mg/l)		(mg/l)		(mg/l)		(mg/l)	
			通常	最大								
排水処理施設名	①	処理前										
		処理後										
	②	処理前										
		処理後										
	③	処理前										
		処理後										
排水口別												
添付書類	㊦ 排水口の事業所内位置図											

(注意) 添付する「排水口の事業所内位置図」には、排水処理施設と排水口を記入してください。

(A4)

下水道に接続の場合は記載不要

排水の処理方法概要書

処 理 施 設	処理施設の名称及び種類	排水処理施設	
	設置場所	別紙〇〇のとおり	
	工事着手予定年月日	〇年〇月〇日	
	工事完成予定年月日	〇年〇月〇日	
	使用開始予定年月日	〇年〇月〇日	
	型式	〇〇社製〇〇型	
	構造	コンクリート製	
	主要寸法	別紙（〇）のとおり	
	能力（ m^3 / 日）	〇〇 m^3 / 日	
	処理方法	油水分離、 中和、 凝集沈殿分離	
	設計計算書	〇〇 m^3 / 日	
設 置 状 況	月使用日数等	<input type="radio"/> 時間／回 <input type="radio"/> 回／日 <input type="radio"/> 日／月	時間／回 回／日 日／月
	季節変動	なし	
使 用 す る 消 耗 資 材	名称	硫酸、苛性ソーダ、高分子凝集剤、硫酸バンド	
	用途別	中和、凝集	
	1日当たりの使用量	硫酸(〇kg)、苛性ソーダ(〇kg)、高分子凝集剤(〇kg)、硫酸バンド(〇kg)	
添 付 図 面	㊦ 排水処理施設の構造・規模・能力を説明する図面及び設計計算書		

騒音の処理方法概要書

(単位 デシベル)

発生源である施設等		動力プレス P-1	破碎施設 H-2		
㉠ 発生源での騒音レベル		1 m 88 dB	1 m 90 dB	m dB	m dB
騒音対策による減衰値	㉡ 音源対策による減衰				
	㉢ 距離減衰	6 m 16 dB	2 m 6 dB	m dB	m dB
	㉣ 建屋による減衰	ALC 20 dB	ALC 20 dB		
	㉤ 防音壁等による減衰				
	㉥ 減衰値合計 ㉡+㉢+㉣+㉤	36 dB	26 dB		
敷地境界線での騒音レベル予測 ㉠-㉥		52 dB	64 dB		
防音対策の具体的内容		ALC(50mm) 別紙()の建屋の構造図のとおり	ALC(50mm) 別紙()の建屋の構造図のとおり		
施設の使用時間		8時00分～ 18時00分	8時00分～ 18時00分	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分
当該事業所に適用される規制基準値		【午前8時から午後6時まで】 70 dB	【午前6時から午前8時まで及び午後6時から午後11時まで】 65 dB	【午後11時から午前6時まで】 55 dB	
添付図面		施設等の位置及びその位置から敷地境界線までの距離を示した図面			

振動の処理方法概要書

(単位 デシベル)

発生源である施設等		動力プレス P-1	破碎施設 H-2		
㉠ 発生源での振動レベル		1 m 68 d B	1 m 70 d B	m d B	m d B
振動対策による減衰値	㉡ 防振対策による減衰	d B	d B		
	㉢ 距離減衰	m d B	m d B	m d B	m d B
	㉣ その他				
	㉤ 減衰値合計 ㉡+㉢+㉣	d B	d B		
敷地境界線での振動レベル予測 ㉠-㉤		基準値内	基準値内		
防振対策の具体的内容		強固な基礎 別紙()基礎 図のとおり	強固な基礎 別紙()基礎 図のとおり		
施設の使用時間		8時00分～ 18時00分	8時00分～ 18時00分	時 分～ 時 分	時 分～ 時 分
当該事業所に適用される規制基準値		【午前8時から午後7時まで】 70 d B		【午後7時から午前8時まで】 60 d B	
添付図面		施設等の位置及びその位置から敷地境界線までの距離を示した図面			